

1. 科目名 (単位数)	心理学的支援法 (心理療法) (2 単位)		3. 科目番号	PSMP3382 EDPS3308
2. 授業担当教員	近藤 重晴			
4. 授業形態	講義、演習、討議	5. 開講学期	秋期	
6. 履修条件・他科目との関係	心理学入門・心理学概論を履修していることが望ましい。			
7. 講義概要	様々な心理療法の中から、クライアント中心療法、精神分析療法、行動療法、家族療法、芸術療法等の代表的な心理療法を取り上げ、その理論の成り立ちの歴史から概要と意義を学び、それぞれの技法を体験的に学習する。また、それぞれのアプローチにおける適応と限界についての理解を深めることで、クライアント自身や問題に適した心理療法を学ぶ。プライバシーへの配慮を含めた心理療法における倫理を学ぶ。			
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 心理療法の諸理論・諸技法について、その背景となる考え方を理解し、それぞれの治療・援助の方法を具体的に知ること、その考え方や方法を日常生活に応用できるようになる。 2. 対人援助の場で、利用者の抱える問題に応じた心理的側面の援助方法を選ぶことができるようになる。 3. 訪問による支援や、地域支援の意義について理解している。 			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	適宜、小テスト・レポート課題を実施する。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】矢澤美香子 (編)『基礎から学ぶ心理療法』ナカニシヤ出版 2018。			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 毎回の授業に対して、学生自身の書いたものを通して、基本的事項の理解度を評価する。 2. 授業への参加度として、教員からの質問への応答の頻度と根拠を持った発言かどうかを評価する。 3. 課題レポート (または、期末試験) の文章が論理的であるかどうか、および基本的事項が盛り込まれているかどうかを評価する。 <p>○評定の方法</p> <p>授業内の課題シート・学習ノート、授業態度・参加姿勢、課題レポート等を総合して評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内の課題シート・学習ノート 総合点の30% 2. 授業態度・参加姿勢 総合点の10% 3. 課題レポート(期末試験) 総合点の60% 			
12. 受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら主体的に取り組むようにすること。 ・事前に該当頁を必ず読み、分からない言葉・用語・概念などを調べて、授業に臨むこと。 ・討議を毎回取り入れるので、積極的に発言してほしい。 ・授業は正当な理由がない限り、欠席・遅刻・早退をしないでほしい。 ・他の受講生の学習に迷惑をかける行為 (携帯電話の操作、私語、居眠り、グループ活動に協力しない等) をしないようにしてほしい。 			
13. オフィスアワー	オフィスアワーは講義時間の前後で受け付ける。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	オリエンテーション：心理療法とはなにか。	事前学習	教科書の pp.3~24 を読んで、心理療法とはなにかを調べて理解しておく。	
		事後学習	「心理療法」「カウンセリング」「精神療法」などの用語の意味と違いについてまとめる。	
第2回	クライアント中心療法と内的準拠枠を共感的に理解するように努めること。	事前学習	教科書の pp.29~41 を読んで、事前にクライアント中心療法について調べておく。	
		事後学習	クライアント中心療法についてまとめる。	
第3回	精神分析的アプローチ (精神分析療法) について学ぶ。	事前学習	教科書の pp.42~53 を読んで、事前に精神分析療法について調べておく。	
		事後学習	精神分析療法についてまとめる。	
第4回	分析心理学、アドラー心理学について学ぶ。	事前学習	教科書の pp.54~78 を読んで、事前に分析心理学とアドラー心理学について調べておく。	
		事後学習	分析心理学とアドラー心理学についてまとめる。	
第5回	行動療法について学ぶ。	事前学習	教科書の pp.79~92 を読んで、事前に行動療法について調べておく。	
		事後学習	行動療法についてまとめる。	
第6回	認知行動療法について学ぶ。	事前学習	教科書の pp.93~104 を読んで、事前に認知行動療法について調べておく。	
		事後学習	認知行動療法についてまとめる。	
第7回	ゲシュタルト療法について学ぶ。	事前学習	教科書の pp.125~136 を読んで、事前にゲシュタルト療法について調べておく。	
		事後学習	ゲシュタルト療法についてまとめる。	
第8回	フォーカシングについて学ぶ。	事前学習	教科書の pp.137~149 を読んで、事前にフォーカシングについて調べておく。	
		事後学習	フォーカシングについてまとめる。	

第9回	日本発祥の心理療法1 森田療法について学ぶ。	事前学習	教科書の pp.150～156 を読んで、事前に森田療法について調べておく。
		事後学習	森田療法についてまとめる。
第10回	日本発祥の心理療法2 内観療法について学ぶ。	事前学習	教科書の pp.157～162 を読んで、事前に内観療法について調べておく。
		事後学習	内観療法についてまとめる。
第11回	日本発祥の心理療法3 臨床動作法について学ぶ。	事前学習	教科書の pp.163～174 を読んで、事前に臨床動作法について調べておく。
		事後学習	臨床動作法についてまとめる。
第12回	ブリーフセラピー（解決志向アプローチなど）について学ぶ。	事前学習	教科書の pp.186～196 を読んで、事前にブリーフセラピーについて調べておく。
		事後学習	ブリーフセラピーについてまとめる。
第13回	ナラティブ・セラピーについて学ぶ。	事前学習	教科書の pp.197～207 を読んで、事前にナラティブ・セラピーについて調べておく。
		事後学習	ナラティブ・セラピーについてまとめる。
第14回	家族療法について学ぶ。	事前学習	教科書の pp.208～218 を読んで、事前に家族療法について調べておく。
		事後学習	家族療法についてまとめる。
第15回	まとめ	事前学習	学んだ心理療法について振り返る。
		事後学習	学んだ心理療法についてまとめる。